

2006年度第5回理事会議事録

期 日：2006年10月14日(土) 12:00～16:30

場 所：地質学会事務所

出席者：木村会長，伊藤副会長，佃副会長，渡部常務理事・天野副常務理事・Wallis・上砂・大友・
狩野・倉本・高橋・中山・宮下・向山 各理事，橋辺(事務局)

欠席理事：(委任あり)：久田・公文・(委任なし)：増田

* 成立員数(12/17)に対し，出席者14名，委任状2名，欠席者1名で，理事会は成立。

報 告

1. 運営財政部会(部会長-上砂，中山，向山，大友)

総務委員会(委員長 上砂)

庶務関係(担当理事 上砂)

< 共催・後援等関連 >

- ・第17回国際堆積学会議終了に際し，松本良組織委員長より共催に対する御礼状。
- ・「第21回太平洋学会議開催のための準備運営に関する合意書」(日本学会議との間)に共催団体として捺印。
- ・2006土壌・地下水環境展開会式・レセプションへの招待状 欠席

< 賞の公募関連 >

- ・とやま賞の推薦依頼：富山県ひとつづくり財団，12/8 締め切り News誌，HPに掲載

< その他 >

- ・道立博物館施設等への指定管理者制度導入に関し，北海道知事らに対し要望書提出依頼：北海道史研究協議会ほか 北海道知事，道議会議長，教育長に要望書を提出(10/14付け)
- ・東京大学海洋研究所共同利用の公募：東大海洋研究所，11/30 締め切り News誌，HPに掲載
- ・茨城大学理学部地球環境科学教員の公募：11/30 締め切り News誌，HPに掲載
- ・事業所・企業統計調査(総務省統計局)への協力
- ・GUPIより天野理事を通じて依頼があった，技術者の認定制度創設のための委員会に，委員の推薦要請については，山本高司会員(関東支部幹事，川崎地質)を推薦することとした。
- ・産総研より，JIS A 0204と新規JISの原案作成委員会委員として地質学会からは，前回委員長をお願いした坂幸恭会員を委嘱したい旨連絡があり，本人の了解を得た。
なお，今回も委員長を委嘱する。

会員関係(担当理事 中山)

1) 入会の承認

正会員(3)：永井甲矢雄，宿輪隆太，佐藤信吾

院生割引(1)：米原俊生

学生(1)：米村和紘

2) 退会者(正1)：三池 力

3) 逝去者(名誉1)：佐藤博之(10/10) 弔電・生花送付

4) 9月末現在会員数

賛助34，名誉76，正4478(内，289院割)，学生41，合計名4,629

5) 追悼記事：今井名誉会員 鈴木刷元会員・宍戸章会員共著。

6) 名簿発行について，アンケートの返信状況

・現在640通。引き続き呼びかけを続ける。

7) 新しい50年顕彰会員に，短文を書いてもらう，名誉会員にも歴史に残るような露頭の発見な

どの記事を News 誌に寄稿してもらい掲載してはとの提案が、坂野名誉会員からあったことが、石渡評議員から寄せられた。この件に関しては、ニュースに投稿を依頼することとした。その他、これらの方の年会参加費用についても言及された。参加費については、会計委員会で検討することとした。

関連学会連合（担当理事 天野）

- ・地質科学関連学協会連合
- ・自然史学会連合
- ・地理関連学会連合

地球惑星科学連合（久田連絡委員）

学術会議関係報告（木村会長 = 連携会員）

- ・どのような分科会をいくつ設けるかについては現在も検討中である。
最終的な連携会員は齋藤靖二、岡田尚武、
- ・来年早々に IUGS のエグゼクティブ・コミッティーが行われる。その機会に、IYPE のオープニングセレモニーを 1/21 に実施したいとの意向がある（佃）。なお、IYPE 担当理事は佃とする。

会計関係（担当理事 向山）

- ・9月までの一般会計収支（資料参照 p. 1-2）
- ・雑誌印刷の契約更新（113巻 2007年より）のための入札行い、引き続き日本印刷㈱に依頼することとした。
- ・地質学雑誌の補遺「巡検案内書」の CDROM 版は、高知の業者からも見積もりを取って検討の結果、東京で作成することとした。
- ・アーカイブス委員会から、故今井名誉会員の文献輸送費については不要との返事があったが、対応については、向山理事が検討する。

広報委員会(担当理事 大友)

- ・高知大会で、地質学会からのプレスリリースされる前に公表（個別的に）されてしまったケースがあった。今後これらの周知徹底の必要と対応については、行事委員会で検討することとなった。

ニュース誌編集小委員会（担当理事 大友）

- ・これまでの表紙写真を HP 上で教材として利活用することなどについて話し合わせ、News 誌の投稿規程を作ることとした。案ができれば法務委員会で検討をする。

インターネット運営小委員会(担当理事-大友)

- ・インターネット小委員会が開催された(9/17)。
今後、HP の構造の変更もふくめ内容の検討を行うこととした。なお、小委員会が直接的に HP の書き換えを行うこととした。
- ・教材用ページの作製について具体的に検討することとした。地質ニュースの表紙の写真を教材とする方向で検討している。=
- ・英文ページの作成についても検討中。

2. 学術研究部会（部会長-久田，公文，増田）

行事委員会（久田委員長）

- ・高知大会報告（別紙資料参照）
- ・札幌大会に関して、9月18日実行委員会総務担当の竹下会員と懇談した。

専門部会連絡委員会

国際交流委員会（公文 国際特任理事）

- ・韓国地質学会（59周年，10/26）に会長への招待状があり、会長は出席することとした。正式

な関係構築のため、会合を設定していただくよう依頼した。交換用の雑誌（含 Island Arc）を持参する。

- ・ Island Arc は、インド、タイの地質学会にも交換図書として送付することとした。
- ・ 久田理事より、タイ地質学会(会員数 1200 名)：出版物の交換、国際シンポの共同開催の可能性について報告された。

南極地質研究委員会（委員長-廣井美邦）

地質環境の長期安定性に関する委員会（委員長-高橋正樹）

- ・ 委員長交代：吉田英一（名古屋大）が新委員長となった。
- ・ 札幌大会でシンポジウムの企画を検討中と報告された。

3. 編集出版部会（部会長-狩野，久田，宮下，Wallis）

地質学雑誌編集委員会（委員長-狩野 副委員長-久田，宮下 = 企画担当）

- ・ 今月の編集状況は以下の通りです（10月12現在）。
112-9：論3・口絵1（40p）発行済み
112-10：論説2・短報3 口絵1（42p）校正中
本年度投稿論文数 88 編 [論説 60（和文 54・欧文 6），総説 4（和文 4），ノート 2（和文 2），短報 19（和文 19），討論 3（和文 3），] 口絵 8（和文 5・欧文 3）
投稿数昨年比 +12 査読中 66 編
- ・ 日高特集号は1月あるいは2月号とする。

Island arc 編集委員会(担当理事 Wallis，事務局長 竹内圭史・角替敏昭)

- ・ 9月18日開催の編集委員会(オフライン)議事内容報告(資料参照 11-14)
- ・ 15巻は図を拡大したためページが増え 547 ページとなり，7ページの超過であったが、BP 社交渉し超過チャージなしとした。
- ・ 新 Associate Editor
Dr Sergey Zyabrev (Khabarovsk Institute of Tectonics and Geophysics)

・ 編集状況

【2006年15巻4号】 印刷中

Iryu 特集 7編 + preface 一般論文 4編

【2007年16巻1号】 11月中旬締め切り

Miyazaki 特集原稿 6編 + preface 編集委員長最終チェック中

一般論文 7編 受理済み

(一部2号へ繰り越す可能性もあり)

【作業中】

一般投稿

revision 中 19編

査読中 7編

Island arc 連絡調整委員会（委員長 会田，担当理事 Wallis）

- ・ Island Arc の契約更新に伴い，契約内容の見直し等を行い，契約書案を作成した。(資料参照 p. 9-14，および回覧資料参照) 【審議事項へ】

企画出版委員会（担当理事 高橋）

- ・ 地学読本作成委員会（原田憲一）より，委員(執筆者)交代届けおよび第2回執筆打ち合わせ会議開催(9/11-13 報告。現段階で第一次原稿も集まり，当初の刊行計画は予定通り達成できる見込み)。

4. 普及教育事業部会（部会長-高橋，倉本）

地学教育委員会（委員長-阿部国広）

- ・ 地球惑星科学連合「教育問題検討委員会」

生涯教育委員会（委員長-柴 正博）
地質基準委員会（委員長-新妻信明）
地層名委員会（委員長-天野）

5. その他

支部長連絡会議（担当理事 伊藤）

- ・9月17日（日）12時より、高知大学において支部長会議を開催した。代理人も含めて全支部からの出席があった。
- ・ジオパークについて質問が出たため、機会を見て詳細を連絡・説明することとした。

地質災害委員会（担当理事 天野）

- ・高知における公開シンポジウムの報告
- ・札幌大会への引継ぎが必要である。現地の実施体制を確立する必要がある。

JABEE 委員会（委員長 福澤仁之）

技術者継続教育委員会（PDE）（委員長 公文）

ジオパーク推進委員会（担当理事，佃委員長）

IYPE 関係（担当理事 佃）

- ・当面，佃理事を報告の窓口とする。
- ・来年早々に IUGS のエグゼキティブ・コミッティーが行われる。その機会に，IYPE のオープニングセレモニーを 1/21 に実施したいとの意向がある（佃）。-
- ・IYPE について，News 誌に解説記事を掲載し，会員等に周知すべきである。

【以下，評議員会の下の委員会】

名誉会員推薦委員会（伊藤副会長）

女性地球科学者の未来を考える委員会（委員長 大友幸子）

法人化実行委員会（委員長 齊藤靖二）

法務委員会（担当理事：委員長 上砂）

- ・倫理規定策定委員会（委員長 松本 良）

オンライン化委員会（委員長 斉藤 眞）

選挙管理委員会（委員長 関 陽児）

- ・代議員選挙の立候補受付が開始された（10/31 まで）

6. 4 役会議審議内容

- ・高知大会残務としての補遺 CD 化の実務的な問題について
- ・来年度事業計画の作成（次回理事会までにまとめ，12月評議員会で概略の決定）。
- ・札幌大会の獲得目標の設定。
今後の大会実施の計画，普及教育関係の強化，現地とのコンタクトは早急に開始する，ロシアの巡検なども考える，行政，民間，博物館などの協力を得ること。
以上を11月，12月に進める。11月には大会関係者と直接会って話し合う。
地質環境の長期安定性に関するシンポジウムを札幌大会での実施可能性を検討する（高橋理事）
- ・法人化実現の今後の方針について

< 次回以降の理事会開催予定 >

06年11月 11日（土）12:00-17:00 学会事務局 予定

06年12月16日（土） 10:30 - 12:00 東京 北とぴあ 701会議室

< 次回以降の評議員会開催予定 >

06年12月16日(土) 13:00 - 17:00 東京 北とぴあ 701 会議室
07年4月7日(土) 13:00 - 17:00 東京 北とぴあ 901 会議室

審議事項

1. アジア諸国との連携について

- ・韓国, インド, タイの地質学会と雑誌の寄贈交換をすることとした.

2. アイランドアーク契約書(案)内容の確認

- ・年間ページ数増: 現行 540 ページを 36 ページ増で 576 ページとする.
- ・契約ページ数の増減について, 次年度への繰越し可能(3年にまたがるページの貸借)
- ・契約年数現行 3 年を 4 年とする.
- ・超過ページ料金は, 17000 円/1p.とする.
- ・購読料の値上げ: 図書館 = 12%, 個人(地質学会会員以外) = 5%, 会員は据え置き
- ・編集費として地質学会に 40 万円バック(現行 30 万円).
- ・出版およびオンライン無料閲覧
- ・Island Arc 賞への副賞 500 ドルの提供
- ・最小購読者数が 150 名以下になっても学会にペナルティーは課さない.

上記の主な契約内容及び変更点について検討し, 契約年数は 2 年間(2007-2008)として再度交渉するよう, 調整委員会, 編集事務局に伝えることとした.

3. 長大論文掲載の可能性, その他について(宮下理事提案)

1) 今後の検討課題についての意見交換:

- ・長大論文掲載について
当面はいくつか分散しての掲載, 特例など等の工夫をする.
- ・カラーページの料金について
将来的にはオールカラーを目指す必要がある. カラーを増やしていく方向で, カラーページのチャージについては検討する.
- ・地質学会学術大会のシンポジウム特集号について
新しいカテゴリーの論文
 - ・1シンポジウムからは少なくとも 1 つの総説を載せることで依頼する. 従来の編集規定で可能な範囲で実施する.

2) 新しいカテゴリーの創設

- ・内容について検討をする. すでにこの種類の論文は e-Earth, Terra Nova などで実施されているから, それと重複しないよう, 国内版としたらどうかとの提案を検討することとした.

4. 巡検の単位互換について全国地球科学系学科長会義への提案について

- ・巡検の単位互換制度について, 天野・伊藤理事が地質学会から全国地球科学系学科長会義に提案する. 地質学会は後援する. 安全対策は必要であるとの認識で一致した.

5. 法人化について

- ・2008年に予定されている公益法人法の改正に伴う対応を考える必要があるとの認識で一致した.
- ・来年の総会をめぐり情報を収集することとした.

以上